

大阪狭山市議会 議会報告会まとめ

日	程	平成29年11月19日（日）
時間・会場		午後1時30分～：市役所 第1・第2会議室

目 次

■開催の状況	P 3
■議会報告会の様子	P 4
◎ 『第1部 議会の報告』より	P 4
▼9月定例会議会の報告	P 4
◎ 『第2部 市民との意見交換会』より	P 5
▽Aグループ	P 5
▽Bグループ	P 6
▽Cグループ	P 7
▽Dグループ	P 8

■開催の状況

- 開催日時 平成29年11月19日（日）
午後1時30分から午後4時00分まで
- 開催場所 市役所 第1・第2会議室
- 出席議員 井上健太郎、上谷元忠、小原一浩、片岡由利子、北 好雄、
北村栄司、薦田育子、須田 旭、徳村 賢、鳥山 健、西野滋胤、
松井康祐、松尾 巧、丸山高廣、山本尚生
全議員15名（50音順）
- 一般参加 30名（大阪狭山市PTA連絡協議会の皆様を含む）

■議会報告会の様子

◎『第1部 議会の報告』

第1部では、平成28年度（2016年度）決算の状況や条例の審査状況など、9月定例会議会の内容について報告しました。

▼9月定例会議会の報告

1. 平成28年度（2016年度）一般会計決算について

平成28年度（2016年度）一般会計決算額は、歳入総額191億7,814万円、歳出総額は186億7,832万円となっています。

歳入歳出差引額は4億9,982万円で、翌年度へ繰り越すべき財源が568万円となっており、実質収支額は4億9,413万円の黒字となっています。

報告会では、決算の内容とともに審査結果についても報告しました。

2. 平成28年度（2016年度）の特別会計等決算について

平成28年度（2016年度）の国民健康保険特別会計（事業勘定）決算や介護保険特別会計（事業勘定）決算をはじめ、各特別会計等の内容とともに審査結果についても報告しました。

3. 条例等の審査状況について

大阪狭山市身体障害者及び知的障害者の医療費の助成に関する条例等の一部を改正する等の条例についてをはじめ、各種条例の改正内容や審査状況などについて報告しました。

◎『第２部 市民との意見交換会』

第２部では、大阪狭山市ＰＴＡ連絡協議会の皆様にもご参加をいただき、「子育て・教育・魅力あるまちづくり」をテーマとして、４グループに分かれ、自由に意見を述べていただきました。

前回に引き続き、グループワーク形式で実施させていただいたことにより、ご参加いただいた市民の皆様から数多くのご意見をお聞きすることができました。皆様からいただいたご意見やご要望などにつきましては、本市の行政側に対しても必要なものはお伝えし、各議員の議会質問などの参考とさせていただくとともに、本市議会の活動をさらに充実するために活用させていただきます。

【各グループにおける意見交換の状況（グループリーダーによるまとめ発表等）】

▽Ａグループ

【子育て・教育・魅力あるまちづくり】

○先生方が忙し過ぎる、富田林や堺市も病児保育を大阪狭山市から受入れてもらえるように、安心して子どもを預けられるところが少ないのではないかな。

○病院時間外に大きなけがをし、救急車を要請するかどうか迷いながら、結局呼ばざるを得なくなり、救急車をようせいしたが、近隣の病院で受入れができなかった。

○知的障がいの支援事業にかかる助成についての周知が不十分である。市のさらなるサポートも必要。し伸べてもらいたいというご意見でした。

○発達障がい児等支援事業「手をつな GO!」、１人の子どもにつき１度しか受けられない。何度も受けられたほうがいいというご意見が多くある。

○保育所待機児童が出ている。何度も落ちているがどうにかならないか。

⇒議員から、待機児童解消のため新たな保育所が開設される予定であることを説明。

○ＬＧＢＴについて理解を深める取組みを。

○子どもの安全確保のために、登下校の見守りなど、ボランティアでまちのパトロールをしていただいているが、半官半民のような形で取り組めないか。

○大阪狭山市は、道路の整備が遅れている。車のすれ違いができないところも多い。歩道がないところも多く、このままでは危険。ミニ開発等が行われてきているが、そ

こに対してまだインフラが届いていない。ミラーが足りないところがあって、信号がないところも多い。ミニ開発の中で、公園等も少ない、小さな公園ばかりができて、子どもたちがのびのびと遊べる公園が足りない。ボール遊びができる場所も少ない。公園面積が増えた、1人当たりの公園面積も増えたとしても、小さい公園が増えているだけで、ミニ開発に伴う、取ってつけたような公園であったりする。従来の公園が、整備されていなかったり、魅力ある公園は、逆に減っているのではないか。こうしたことを踏まえ、30年後の大阪狭山市を見据えてまちの計画を立てるべきではないか。

○大きな公園を1つつくっても、小さな年齢の子どもたちが行くのは困難であるので、取捨選択をして、まちの中にある小さな公園の魅力も高めていくことが必要。

○まちづくりのプロジェクトづくりについて、市民の貴重な意見をもとに、行政の担当者、議員とともに前に進めていけるようなシステムをつくってはどうか。近大の跡地利用などについても、委員会はできたとは聞くが、具体的な案づくりに動いているとは聞かない。具体的にまちづくりについて、市民の意見をもっと吸い上げるようなシステムをつくってみてはどうか

○市民生活を支援する制度等について、自ら情報を取りにいかないといけないままとなる。こうした制度等について、もう少し上手くPRしてほしい。PRは地区会等の回覧板、広報紙、ホームページ等を媒体として、さらに拡充してほしい、また、市民団体や地域に協力してもらうこともよいのでは。

▽B グループ

【子育て・教育・魅力あるまちづくり】

○箕面市では、障がいを持っている子どもさんを学校に送迎する通学タクシーのようなものがあるが、大阪狭山市ではそういうものはない。

○小学校のプールの更衣室の老朽化が目立っている、また、学校そのものも少し汚くなっているところがある。

○南第一小学校は旧館と新館があるが、新館のトイレが古いので、そういったところをきれいにしてもらえないと、子どもたちにとって、使い勝手のいい学校になっていないのではないかと。そこで、例えば掃除であれば、シルバー人材センターや地域のお年寄りなどに来てもらってはどうか。掃除の仕方を教えてもらって、子どもたちと交

流しながら学校をきれいにするような方法はできないか。

○学校給食について、バイキング給食のわくわく感が少し減ってきているのではないかという意見に対し、給食のメニュー全般について、素材が少し貧素になってきており、その最たるところが、バイキング給食で、わくわく感が減ってきているのではないかとの意見があった。

○子どもたちの安全問題について、中学校にも見守ってもらえるようなものを導入できないか。

○公園が少なく、ボール遊びができるようなところもない。子どもたちが安心して遊ぶところがないのではないか。公園の植え込みも統一されていないので、子どもの飛び出しに気づかなかったり、中で遊ぶ子どもが見えないというような防犯上の問題もあるのではないか。

○大阪狭山市の子どもは体力がないのではないか。サッカーの大会などを見ている、大阪狭山市の子は、明らかに弱い。学力はあるのだが、体力の弱さが顕著ではないか。

○環境について、副池オアシスの取組みがあるが、日本固有種を保護することなどをすれば、それを見たいという人は市外から集まってくるのではないか、こういった集客を考えられないか。

○狭山池のごみが目立つ。クリーンアクションの活動もあるが、こうした現状から、新たな狭山池の取り組みにつながったらよい。

○水道事業について、水道料金は上がっていないが、水道管の破裂等、老朽化に対する取組みは大丈夫か。

○図書館・公民館前に信号を設置できないのか。

○大阪狭山市の人口は微増だが、ニュータウンの人口は減っており、空き家も増えている、こういったバランスも気にしなくてはいけない。

▽C グループ

【子育て・教育・魅力あるまちづくり】

○学校でのＩＴ教育等のあり方について、その必要性について議論をしないまま、ＩＴ教育、ＩＴ化が進められている。

○子どもたちに対するスマートフォンについての基本的な教育について、どうなっているのか。

○ＰＣとＩＴ環境を整備してほしい。学校内でＩＴを進める際、専門的な教育を受けている先生方が必要ではないか。周囲の市の状況も見て、大阪狭山市の教育方針に合うようなＩＴ環境を進めてほしい。各学校で不公平のないよう、ＩＴ機器を整備してほしい。

○教育方針について、親の考えと先生の考えに違いがある。生徒と先生があだ名で呼び合ったりしているもちお、先生の威厳もあったものでないのでは。めりはりやけじめのある先生・生徒の関係を築いてほしい。

○ＰＴＡ活動について、非加入の方や非協力的な方がいる。

○学校校区について、東小学校の北側の地域で若い世代の人口が増えている。東小校区等の校区分けについて検討が必要。

○待機児童について、地域によってばらつきがある。平成３０年には池尻に保育園開園、平成３１年には西幼稚園と南第二の幼稚園にこども園を併設し、待機児童の解消が図られる。

○最近共働きの親が多い中、できる限り土曜日、日曜日等も学校運営ができるような環境整備をしてほしい。

○放課後１６時から１８時のパトロールを強化すればよい。広い範囲で見守り隊が活動してくれている。今後、できる限り、防犯カメラ等の設置を進めて、抑止効果を高めていくことが必要。

○公園を遊べる公園に。草刈り等も行き届かず、遊びにくい公園もある。

○粗大ごみ回収の日に、様々な業者が軽自動車ですぐ勝手に持って帰っている。

○狭山池の清掃をしっかりとしてほしい。

○大阪狭山市の窓口である大阪狭山市駅が未整備である。踏切事故についての安全対策として駅の橋上化が必要。

▽Ｄグループ

【子育て・教育・魅力あるまちづくり】

○校区割りについては、特に東小で児童数が増加している。また、グラウンドも狭い

ため、例えば運動会をする場合、他の場所でやればどうか。

○学校給食について、予算の関係かもしれないが、最近、おいしくなくなっているのではないか。和食や中華が混在している。おいしい給食に向けて検討の必要がある。

○池尻の狭山池付近の通学路で、大雨の際、川があふれていることがあった。通学路の整備するとともに、安全について学校とともに考える必要がある。

○大阪狭山市駅の東側の道幅が狭いため、通学に気をつけている。

○中学校区や小学校区でのイベント開催について、運営が縦割りのようで、他の団体の人の協力がもらえないので改善する必要がある。

○地域で学校を育てていくとの視点で、他市では、コミュニティ・スクール等に取り組んだりしている、大阪狭山市でも具体化するべき。

○教員の負担もあるかもしれないが、中学校における部活の活性化が必要。

○子どもが遊べる広場の確保について、さやか公園では、なかなか安全が確保されていない。また、違法駐車も多く、解決に向け、検討する必要がある。

○教員の時間外の負担軽減のため、補助的な人員の雇用等できないか。

○だんじり曳行の際、アルコールを禁止してはどうか。